※令和４年度以降入学生用

学校番号	３００２

令和５年度　資源動物科

教科	農業	科目	農業と情報	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「農業と情報」　（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・実践的・体験的な学習を通して、コンピュータやネットワークについて学び、日常使っている機械（コンピュータ等）に対して、理解を深め、適切な使い方は何かを考えましょう。
・コンピュータやネットワークを利用したコミュニケーションについて、ワークショップや演習等を通して考え、友だちを含めた多様な考え方を学び、自分の考えを持ちましょう。
・ワープロ・表計算・プレゼンテーションなどのソフトの使い方を学び、それを利用してプレゼンテーションを行えるようになりましょう。

2　学習の到達目標

・日常のさまざまな問題を解決するために、コンピュータを活用して情報の収集や整理を行うことができ、問題を自己解決できるように調べることができる。
・情報化が社会に及ぼす影響、情報を受信・発信するときの責任を理解した上で、ネットワークを利用したコミュニケーションを含め、情報社会に積極的に参加する。
・コンピュータの仕組みやネットワークの仕組みを理解し、それらを適切に活用できる。
・ワープロ・表計算・プレゼンテーションなどのソフトの使い方を学び、それらを利用してプレゼンテーションが行える。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・情報と情報技術を適切に活用するための知識とそれを活用して問題を発見・解決するための方法についての理解 ・情報社会の進展とそれが社会に果たす役割と及ぼす影響、および、情報に関する法・制度やマナーの意義と情報社会において個人が果たす役割や責任についての理解 ・情報と情報技術を活用するための基礎・基本的な技能を身に付け、目的に応じて、情報および情報技術を適切に扱っている	・さまざまな事象を情報とその結び付きの視点から捉える力 ・問題の発見・解決に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用する力 ・複数の情報を結び付けて新たな意味を見いだす力	・情報を多角的・多面的に吟味し、その価値を見極めていこうとする態度 ・自らの情報活用を振り返り、評価し改善しようとする態度 ・情報モラルや情報に対する責任について考え行動しようとする態度 ・情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与しようとする態度

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	ネットワークの活用	○タイピング ○ワープロの利用 ○ワープロの活用	a:　情報と情報技術を適切に活用するための知識とそれを活用して問題を発見・解決するための方法についての理解。情報社会の進展とそれが社会に果たす役割と及ぼす影響、および、情報に関する法・制度やマナーの意義と情報社会において個人が果たす役割や責任についての理解。・報と情報技術を活用するための基礎・基本的な技能を身に付け、目的に応じて、情報および情報技術を適切に扱っている b:ワープロソフトを利用して、適切な文書を考えて表現することができる。ワープロソフトの基本的な使い方を理解している。 c:ワープロソフトを通してコンピュータに興味を持ち、意欲的に学習に取組もうとしている。ワープロを利用しての作品を作成し、インターネットを利用しての作品材料の路用することができる。	考査 ノート プリント 課題 作品	課題 作品 発表 授業態度	考査 ノート プリント 授業態度

※令和４年度以降入学生用

２学期	ソフトウェアの利用	○表計算ソフトの利用 ○表計算ソフトの応用	a: 情報と情報技術を適切に活用するための知識とそれを活用して問題を発見・解決するための方法についての理解。情報社会の進展とそれが社会に果たす役割と及ぼす影響、および、情報に関する法・制度やマナーの意義と情報社会において個人が果たす役割や責任についての理解。・報と情報技術を活用するための基礎・基本的な技能を身に付け、目的に応じて、情報および情報技術を適切に扱っている b:表計算ソフトを利用してグラフ作成と情報の利用ができる。表計算ソフトの基本的な使い方を理解している。 c: 表計算ソフトを通してコンピュータに興味を持ち、意欲的に学習に取組もうとしている。問題解決のための表計算ソフトの利用のために、情報を蓄積・管理することで、どのようなことが可能になるかを考えることができる。問題解決においての情報の有用性について考える姿が見られる。	考査 ノート プリント 課題 作品	課題 作品 発表 授業態度	考査 ノート プリント 授業態度

※令和４年度以降入学生用

３学期	プレゼンテーション能力の育成	○プレゼンテーションソフトの利用 ○プレゼンテーションの作成と発表	a: 情報と情報技術を適切に活用するための知識とそれを活用して問題を発見・解決するための方法についての理解。情報社会の進展とそれが社会に果たす役割と及ぼす影響、および、情報に関する法・制度やマナーの意義と情報社会において個人が果たす役割や責任についての理解。・報と情報技術を活用するための基礎・基本的な技能を身に付け、目的に応じて、情報および情報技術を適切に扱っている b:プレゼンテーションソフトの利用しプレゼンを行うことができる。プレゼンテーションソフトの基本的な使い方を理解している。 c: 表計算ソフトを通してコンピュータに興味を持ち、意欲的に学習に取組もうとしている。プレゼンテーションソフトを利用して、人に伝わりやすいプレゼンを考えている姿が見られる。	考査 ノート プリント 課題 作品	課題 作品 発表 授業態度	考査 ノート プリント 授業態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度